

令和4年度事業の行政評価

事業名	子育て家庭ホームヘルプサービス(ひとり親家庭以外)	所管	子ども教育部 子育て支援課
------------	---------------------------	-----------	------------------

事業概要

基本計画の位置付け	政策	8	まち全体の子育ての力を高める
	施策	21	妊娠から子育てにかかる切れ目ない相談支援体制の充実
	区政運営	—	—
根拠法令等	中野区子育て家庭ホームヘルプサービス事業運営要綱		
個別計画等	—		
予算科目	款 5 項 1 目 4 事務事業 1 事業 子育てサービス		
対象者	児童(小学6年生まで)が怪我や病気の状態にあり、勤務等でその児童の保育ができない家庭	事業方式	委託
目的(効果)	児童がけがや病気でも保護者が勤務等を休むことなく、かつ自宅で保育を受けられることにより、子育て家庭の生活の維持に資する。	事業の始期-終期	開始 令和4年度 終了予定 — 年度
実施内容(4年度)	ヘルパー事業者等への委託により、派遣を希望する登録家庭へヘルパー等を派遣する事業。 令和4年度よりひとり親家庭以外も対象とした。 ○ 利用要件(ひとり親家庭以外の家庭) 児童がけがや病気だが保護者の勤務等により児童の世話ができない家庭		

事業のコストと人員

(金額単位：千円、()内は対前年度比増減率で単位：%)

	2年度	3年度	4年度	事業のコストの説明
事業のコスト(C-D)	0	0	787	(-)
支出(C=A+B)	0	0	787	(-)
事業費(A)	0	0	0	(-)
人件費(B)	0	0	787	(-)
収入(D)	0	0	0	(-)
従事職員数				
常勤職員	0.0人	0.0人	0.1人	
短時間勤務職員	0.0人	0.0人	0.0人	
会計年度任用職員等	0.0人	0.0人	0.0人	
計	0.0人	0.0人	0.1人	
				事業のコストの主な内訳(4年度) 子育て家庭ホームヘルプサービス事業にかかる経費のうち、ひとり親家庭以外の世帯への委託料(利用時間数等に応じて支出する)
				事業の主な増減(3年度から4年度) 令和4年度新規事業

事業の実績・効果

(実績の()内は対前年度比増減率で単位：%)

指標	単位	2年度実績	3年度実績	4年度計画	4年度実績
活動実績 派遣時間数	時間	—	—	691	0
単位コスト	—	—	—	—	—
事業の効果 登録世帯数	件	—	—	123	30
ユーザー視点	—	—	—	—	—

有効性(活動実績分析)、効率性(コスト分析)、適正性(適切性・必要性)

利用の前提となる登録数は、ひとり親家庭(18世帯)よりも多いこと、また病児保育実施施設から距離が遠い区の南側に在住する対象者の登録が多いことなどから、子どもの病気やけがが必要になったときには利用したいと考えている子育て世帯は、一定程度存在する。

次年度予算編成に向けた評価

【事業の方向】	【理由】
継続	既存のひとり親向けのサービスも含め利用登録世帯数は一定程度存在するが、新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から一定以上の発熱等に事業者が対応できないなど、利用実績につながらなかった。本事業は児童がけがや病気の場合等のセーフティネット機能を有することから、利用要件の見直しなど、預かりが必要になった家庭向けのサービスの一つとして改善していく。